



横浜国立大学 (神奈川県) YNU

緑と国際性豊かなキャンパスで日本語と日本学を学ぶ

■大学紹介

① 大学の特色および概要

横浜国立大学 (YNU) は、横浜師範学校(1876年設置)、神奈川県立実業補習学校教員養成所(1920年設置)、横浜高等商業学校(1923年設置)及び横浜高等工業学校(1920年設置)を前身として1949年に誕生しました。

YNUは、現実の社会との関わりを重視する「実践性」、新しい試みを意欲的に推進する「先進性」、社会全体に大きく門戸を開く「開放性」、海外との交流を促進する「国際性」を、建学からの歴史の中で培われた精神として掲げ、21世紀における世界の学術研究と教育に重要な地歩を築くべく、努力を重ねています。



学 部(5) : 教育学部、経済学部、経営学部、理工学部、都市科学部

大学院(5) : 教育学研究科、国際社会科学府、理工学府、環境情報学府、都市イノベーション学府

学 生 数 (2018年5月1日現在) : 学部生7,416名、大学院生2,336名
常勤教職員数 (2018年5月1日現在) : 教員602名、職員302名

② 国際交流の実績

交流協定締結校数 (2018年5月1日現在) : 42カ国・地域 137大学

③ 過去3年間の受入留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入実績 (2018年5月1日現在)

2018年 : 留学生973名-日研生5名 (大使館推薦4名、大学推薦1名)
2017年 : 留学生920名-日研生6名 (大使館推薦4名、大学推薦2名)
2016年 : 留学生828名-日研生3名 (大使館推薦2名、大学推薦1名)

本学の全学生のうち、留学生が占める割合は約10%と大変高い比率となっています。日本語・日本文化研修留学生の受入れは2014年に開始しました。

④ 神奈川県・横浜市の特徴

横浜国立大学の学部・大学院はすべて横浜市にある常盤台キャンパスに集約されています。

横浜は東京から電車で30分のところに位置し、人口370万人を誇る日本第二の都市です。200年以上にわたる江戸幕府の鎖国政策が終わり、世界に開かれた港が作られたのが横浜でした。したがって日本の近代化・国際化は横浜から始まったと言えます。現在は異国情緒のあるオシャレな街として、若者を中心に人気の観光スポットになっています。また、日本初の幕府があった古都鎌倉からも近く、非常に魅力的な立地です。

■コースの概要

① 研修目的

日本事情・日本文化に関する研修を主とし、補助的に日本語能力の向上のための研修を行う。

② コースの特色

充実した日本語プログラムで、日本語力を高め、世界各国から集まる留学生及び日本人学生とともに日本学関連科目を学び、少人数のゼミで自分の研究テーマを深めることができます。

③ 受入定員

5名 (大使館推薦4名、大学推薦1名)

④ 受講希望者の資格、条件等

以下の全ての要件を満たしている者を対象とします。

- 日本語・日本文化に強い関心を持ち、継続的に学習している者
- 「日本語能力試験」N2以上または同等の日本語能力を有する者
- 在籍大学における学業成績が上位の者



⑤ 達成目標

・達成目標は以下のとおりです。

- a. 研究分野において、質の高い成果を発信できる知見と日本語力を得ること。
- b. 日本人学生及び地域コミュニティとの交流を通じて日本の理解を深めること。

⑥ 研修期間

2019年10月～2020年8月
修了式は8月初旬を予定
(2018年は8日3日)

⑦ 研修科目の概要・特色

必修科目は、レベルに応じた日本語科目、論文作成を中心とする「日本学プロジェクト」から成っています。



1) 必須科目

1. 日本語科目

総合日本語
漢字・語彙
アカデミック・ライティング
待遇表現
経済ニュースを読む
神奈川学
震災と復興について
現代作家による小説
文学入門
多文化共生・民族とアイデンティティ などから選びます。

2. 日本学プロジェクト

2) 見学、地域交流等の参加型科目

小学校ESL（近隣の小学生との実習科目）
高校教育実習（近隣の高校におけるインターンシップ）
ホームレスネス（寿町におけるホームレス支援実習）

3) 修了研究の内容

学生各自の関心に沿って、「日本学」に関するテーマを設定します。

4) 日本人学生との共修の機会

学部のゼミ、全学教育科目等で日本人学生と共に学ぶ機会があります。修了発表会は日本人学生と共に実施する予定です。

5) その他の講義、選択科目等

日本の就職事情
日本語をめぐる国際交流史
国際交流における日本語の役割
台湾事情
平和教育概論
異文化理解特論

Documentary Film-Making and Ethnography
Comparative Japanese Subculture Studies
Social, Economic, and Political Encounters
with the World
Multiethnic Japan など

研究テーマ及び日本語レベルによっては学部の授業及びゼミに参加できる場合があります。

⑧ 年間行事（2017年受入の場合）

- 9月下旬 渡日
10月 秋学期開講、
オリエンテーション、観月の会
11月 ホームステイ、常盤祭
2月 秋学期修了



- 4月 春学期開講、オリエンテーション
5月 清陵祭
6月 ホームステイ
8月 春学期修了・修了式
8月中旬 帰国



⑨ 指導体制

プログラム担当教員

- 小川誉子美（国際戦略推進機構教授）
- 長谷川健治（国際戦略推進機構准教授）

その他サポート

●留学生オリエンテーション

学期のはじめに新入生に対してオリエンテーションを行っています。留学生生活に必要なこと、日本語学習に関すること、留学生向けの事務手続き等について説明します。

●チューター制度

必要に応じて日本人学生（場合によっては先輩留学生）がチューターとして留学生の手助けをします。日本語や専門の勉強に関する手伝いの他、生活上の相談にも乗ります。



●ホームステイの案内

国際教育センターでは、例年6月と11月に1泊2日のホームステイプログラムを実施しています。

⑩ コースの修了要件

毎学期必須科目を含む12単位以上取得

■ 宿舎



大学の宿舎への入寮を希望する日本語・日本文化研修留学生は、常盤台インターナショナルレジデンス（2019年3月設置予定）に優先的に入居することができます。

常盤台インターナショナルレジデンス		1ヶ月あたりの費用	¥51,460(税込)		
設備	8人1組でキッチンや浴室・トイレを共有する個室付きのシェアユニットタイプ (家具、家電付き) ※入居一時金 54,000円(税込)				
所在地	大学敷地内	戸数	112	面積	約8㎡

■ 修了生へのフォローアップ

YNUでは約140名の国費外国人留学生在籍しています。修了生が、派遣元大学卒業後に本学への正規留学（国費外国人留学生（研究留学生）を含む）を希望する場合には相談に応じます。

■ 問合せ先

（担当部署）
 横浜国立大学学務部国際教育課
 住所 〒240-8501
 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79-8
 TEL +81-45-339-3176
 FAX +81-45-339-3189
 E-mail iao@ynu.ac.jp

横浜国立大学国際教育センターホームページ
<http://www.isc.ynu.ac.jp/>
 留学生向け大学案内「Why Study at YNU?」
<http://www.kokusai-senryaku.ynu.ac.jp/whystudyatynu/index.html>

